

Town Topics まちの話題

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係
☎23-3069



— snow festival — (2月17・18日)

多くの来場者で大盛況 冬を楽しむ あそ雪の広場

今年で25回目を迎えた当別の冬の風物詩「あそ雪の広場」が阿蘇公園を会場に開催されました。

2日間で当別の冬を楽しんでもらおうと、たくさんのイベントやゲームが催され、中でも1等5万円の商品券を競った町民雪中玉入れは、町内会や職場などで結成した16チームが参加し、白熱したゲームを展開。

決勝は、再試合の末当別消防署Bチームが勝利を収め、商品券を手にししました。目玉の花火大会では、夜空に700発のきれいな花火が打ち上がり、来場者から歓声が聞こえました。

飲食コーナーでは、体が温まる食べ物のほかに、豚肉の無料提供や当別産の米で作った日本酒の試飲会も行われ、来場者を満足させました。

2日間とも天候に恵まれ、会場にはたくさんの親子連れなど約1万人が足を運び、滑り台で遊ぶ子供たちからは、大きなはしゃぎ声が聞こえました。

テーマは「未来へ」雪像コンクール

雪像コンクールは、小学校や家族、職場などからチームがエントリーし、大きさや形を競いました。結果は、以下のとおりです。

大賞

大栄建工(株)



最優秀賞

〈一般部門〉
(株)ウメエダ



〈団体部門〉
(株)本通振興会



〈ファミリー部門〉 しんじゅと仲間たち
〈学校部門〉 西当別小学校6年3組



玉入れは真剣勝負!



あそ雪と言えば滑り台



カフェ・ルースでは、イベントに合わせて二胡のコンサート



親子で力が入る子ども綱引き



food

(2月20)

試食を通して新製品をPR 当別・新篠津の味自慢をお披露目



新篠津・当別の両商工会では、協力して新篠津村のキムチ、田舎みそ、アロニアゼリー、当別のいもだんご汁、ジンギスカン、チーズウインナー、をセットにして「石狩平野の味自慢」として売り出そうと企画しています。今回は、町民の方にも地場産品の美味しさを理解してもらい、どんどんPRしてもらおうと田西会館を会場に試食会を開催しました。

試食した人たちからは「味も良いし、セットになると買いやすい」という声が聞かれ、評判も上々です。現在は試験期間で、アンケート結果などを踏まえて4月1日から販売を開始する予定です。

culture

(2月14・21・28日)

当別の魅力を学ぶ 21世紀鮎田塾



町商工会、当別移住促進協議会の主催で「住みたくなる町当別 もっと知ろう 語ろう 伝えよう」をテーマに「21世紀鮎田塾」を開催。

当別を開拓した岩出山藩出身の鮎田如牛^{じょぎゆう}が開設した鮎田塾の現代版として行なわれた本講座で、初回にはフリーアナウンサーの橋本登代子さんを招き、発声練習や自己紹介の仕方、上手なコミュニケーションの取り方を学びました。

全3回の日程で、四季の美しさ、当別の伝説など、参加者が町の新しい魅力を発見することを狙いとしたテーマで講座が催されました。

winter

(2月10～11日)

厳しい冬を楽しむ イグルー&かんじき



当別森林ボランティア シラカンパの会の主催で、雪のブロックをドーム状に積み上げて造る北方民族の住居「イグルー」と、深い雪の上を歩くときに用いられた日本伝統の履き物「かんじき」の体験イベントが防災センター（旧中小屋中学校）で行なわれました。

イグルー造りでは、子どもたちが自分の体以上の大きさのブロックを、4～5人がかりで積み上げる場面もありました。完成後は中小屋の自然にイグルーが溶け込み、一瞬、北方圏の国を思わせる風景になりました。

翌日には自分たちで作ったかんじきを実際に履いての雪山散策が行なわれ、伝統文化を新しい遊びとして楽しむ知恵を学びました。